



園だより

にじ

NO.5

香川大学教育学部附属幼稚園
2016年6月30日

雨降りの続く毎日、空を見上げることが増えました。「♪てんきになあれ」と、子どもと空へお願いしています。しかし、雨は恵みでもあり、草花、芝生が青々と元気になっています。子どもたちにとっても、かかわるいろいろな人やもの・ことが、恵みとなって、心や体を育てていくことだろうと思います。

～夕涼み会というぼく・わたしたちの行事～

幼稚園での「行事」には、子どもにとっての意味・大切な価値が含まれています。

当日の姿、目に見えるものなどでしか伝えられないこともあるのですが、行事に向かう過程にこそ、大切なもの、育ちがあると思います。料理をするとき、「おいしくなあれ」と思いをこめて作るとき、手作りでしか味わえない『味』があるでしょう。

子どもたちにとって、一つ一つの『行事』が、毎日の積み重ねがあって、創りあげられていくものです。子ども一人一人が、心を動かしている姿をどうぞ感じてください。



積木遊びからの迷路のイメージ
が広がっていく



新聞紙でおぼけのおうちだ
よ。暗いところから、わぁ。



踊りたいな。歌いたいな。
音を感じて、弾んで。

青組

先日のカレーライスパーティーではりきっていた青組の子どもたちが、今度はみんなで夕涼み会の一つのコーナーを引き受けました。迷路づくりでは、考えを出し合い、作ってきた中で友達や先生、もの・こととの新たなかかわりをつくってきたように思います。子どもたちのいろいろな思いや考え、かかわり合いに心動かされ、保育者も共に考え工夫することを楽しむ姿がありました。

夕涼み会の「あおぐみ たんけんめいろ」を楽しみながら、

- どんな思いで作ったのかな、
- どんなふうにしたのかな、
- 当日の子どもたちの姿や表情はどんなかな

と、感じ、いいなあと思うかかわりや姿、ことなどをぜひ伝えてあげてください。

赤・黄組さんにとっては、青組さんの「たんけんめいろ」やがんばっている姿がどのように心に残っていくのでしょうか。幼稚園ならではの遊び文化のつながりでもあります。



赤組



♪せんたくものが〜と、口ずさんでいる『にし』の歌。子どもたちの歌う様子から、この歌が好きなんだろうなと伝わってきます。梅雨の時期、雨だけれど、いろいろとしたいことがある。けれどもなかなか外ではできない思いを「虹」を歌っていると、少し心晴れる気がします。先日、子どもたちから、「虹を見たよ〜」「ほくも」「わたしも・・・」と、話をしてくれました。残念ながら、私は見られなかったのですが、子どもたちの笑顔は虹の素敵さ、晴れた気持ちを与えてくれました。

ある日、「赤組にな、おばけがいるよ」とかわいい声で教えてくれました。おばけは子どもたちにとって、どこか惹かれるところがあるものです。『ねないこ だれだ』(せなけいこ)『おばけかぞくのいちにち』(西平あかね)『めっきらもっきらどおんどおん』(長谷川 摂子)など、おばけが出てくるお話は大好きです。

さて、赤組おばけごっこですが、段ボールでおばけの家を作り始めたのです。そして、紙に描いたおばけの顔をつけて、にこにこしながらやって来ます。青組さんが作っている迷路を「おばけめいろ」と思っているのでしょうか。リズム室で何やら組み立てている姿にあこがれてのことでしょうか。数人の子どもたちが集まって先生と作り始めました。自分たちの思いは、「おばけごっこ」、一人一人が違うイメージをもったの遊びなのですが、集まると楽しい気分になる、イメージがふれ合うこともまた楽しみにつながるという赤組さんの姿をほほえましく思いました。自分の思いを出しつつも、友達のしていることにもアンテナを張っている、こうした姿が、見えないけれども、青組になってみんなで楽しんでいく力と知恵と心を培っていきます。

黄組



黄組さんにとっては、幼稚園の友達みんなの前で歌うのは初めてのこと。黄組の部屋で先生や友達と一緒に歌うことを楽しく、気持ちよく感じ始めているこの頃です。夕涼み会ときには皆の前では、ドキドキしてしまうかもしれません。笑顔での応援、お願いします。

先生たちと一緒に歌っているときの黄組さんの姿は、一生懸命さと愛らしさを感じられます。友達とにこっとほんわか笑顔で歌う姿、自分の気持ちそのままに歌っている姿、いっぱい開いている口、きらきらした目で歌う姿、友達の姿を見ている顔、・・・一人で歌うことと違う楽しさを感じていることと思います。

子どもたちは、聞いてくれることを楽しみにしています。見てにっこりとしてくれることをうれしく思っています。歌で気持ちが楽しくつながることを感じてほしいです。

♪キラキラ星が、子どもたちにも家族の方の心にもみんなに光を届けてくれることを願って・・・